



日本オーソモレキュラー医学会

2018
秋

日時
2018年

11月11日
10:00~17:10
(受付開始9:30~)

会場

秋葉原UDX
カンファレンス 6F
〒101-0021 東京都千代田区外神田4-14-1

定員

100名 (先着順)

参加費

【医師・歯科医師】
会員：15,000円 / 一般：20,000円
同伴：7,500円(コメディカル限定)
【ヘルスケア従事者】
会員：10,000円 / 一般：15,000円
※テキスト・昼食含む

オーソモレキュラー 医学の最新動向

10:10	11:10	11:30	12:30	13:30	14:30	14:50	15:50	16:00	17:00
Lecture 1	休憩	Lecture 2	ランチョンセミナー	Lecture 3	休憩	Lecture 4	特別Seminar		
開会の挨拶 10:00~10:10		主催企業：株式会社エンヘルス 講演内容：「生活習慣病の予防のための食のあり方」				閉会の挨拶 17:00~17:10			

Lecture 1

栄養精神医学における糖と鉄代謝の理解

精神科における糖と鉄代謝、臨床上の工夫について。糖質過多は血糖調節障害に加え、相対的な鉄摂取不足や炎症による鉄の利用障害にも繋がる。減薬や副作用軽減の観点からも、血液検査でこれらを確認し精神疾患における影響を把握しておきたい。糖や鉄関連の知見と共に栄養精神医学の立場から漢方等も交えて症例を提示する。



講師：奥平 智之
医療法人山口病院
精神科 部長

Lecture 2

スーパーフードとその活用

スーパーフードはオーソモレキュラー医学を実践する医師達が着目し、アメリカで広まり、日本に紹介された。現在様々なものがスーパーフードとして普及しつつある中で、傾向や特徴について解説する。



講師：井手口 直子
帝京平成大学
薬学部 教授

Lecture 3

ケトン体、敵か味方かー最近の知見

ケトン体は、99%の医師が危険なものと思い知能低下を招くと信じている。ところが、重症てんかんの治療にケトン食が使われていることや、高齢者の認知能の改善などが明らかとなり、ケトン体の評価は一変してきた。胎児、胎盤、新生児は高濃度のケトン体の中で生きていることなど、栄養学の根底が変わろうとしている。



講師：宗田 哲男
宗田マタニティクリニック
院長

Lecture 4

ビタミンCによる疾病予防と治療~最新動向

ビタミンC(アスコルビン酸)の経口・点滴投与は感染症、急性/慢性炎症、がん、アレルギー疾患の予防/治療に有用であり、併用することで標準治療の有効率が改善する。講演ではビタミンCに関する世界の医学情報を紹介、実践的なビタミンCの使用法を解説する。



講師：柳澤 厚生
国際オーソモレキュラー医学会
会長

特別Seminar

総合ホルモン療法の実践

特に重要なホルモン変化について、予防医学的な観点から現状・治療法に実例を交えて解説する。



講師：上符 正志
銀座上符
メディカルクリニック 院長



一般社団法人
日本オーソモレキュラー医学会
Japanese Society for Orthomolecular Medicine

〒100-0006 東京都千代田区有楽町1-9-1 日比谷サンケイビル10F
TEL: 03-3218-1163 FAX: 03-3218-1283
Mail: info@isom-japan.org

本部
事務局

JSOMへの会員登録、
セミナー参加申込お問い合わせなどは

日本オーソモレキュラー医学

検索

